

ジョウビタキ (学名: *Phoenicurus aureus*)

[スズメ目 ヒタキ科]



▲ジョウビタキのオス



▲ジョウビタキのメス

冬になると庭に現れるオレンジ色のこの鳥に見覚えのある方も多いのではないのでしょうか。これは、ジョウビタキという鳥です。夏の間は中国東北部などで繁殖し、日本には冬にやってくる冬鳥で、只見町でも普通に見られます。オスとメスとで羽色が大きく異なり、オレンジ色が目立つのがオスで、メスは腰のあたりに淡いオレンジ色が見られる程度です。翼の真ん中の白斑は共通した特徴です。

ジョウビタキは、低木林や農耕地、川岸、庭などの開けた環境を好み、オスもメスもそれぞれ1羽で縄張りを持って、冬を過ごします。そのため、一度庭先に定着するといつも同じ場所で見ることができます。特定の低木に好んで止り、尾を振るわせたり、お辞儀のように頭を下げる仕草をするなど特徴的な動きをします。また、「ヒッ」「ヒッ」と高い声で鳴きます。これは自分の縄張りであることを周りのジョウビタキに宣言する鳴き方です。縄張りの意識が強く、窓や鏡に映る自分に攻撃を仕掛けているのをよく目にします。車のサイドミラーが標的となることも多く、フンだらけにされてしまう場合もあります。只見町では、10月下旬から12月にかけてよく目にしますが、積雪量が多くなってくるといつの間にか姿を消しており、春の渡り前に再び見るようになります。

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

企画展示

「守りたい！ 只見の野生動植物

－ 只見町の野生動植物を保護する条例」

期 間: 2017年12月9日(土)～ 2018年6月25日(月)

場 所: ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー